

「生命のがん教育」を実施しました

(令和4年3学期分)

令和4年3学期は24校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆実施校

◎小学校 (8校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
1/16 (月)	相楽東部広域連立笠置小学校	6	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
1/24 (火)	宇治田原町立田原小学校	6	医仁会武田総合病院 副院長 財間 正純
1/26 (木)	宇治田原町立宇治田原小学校	6	京都第一赤十字病院 緩和ケア内科部長 上田 和茂
2/1 (水)	福知山市立上豊富小学校	5	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
2/9 (木)	同志社小学校	6	京都府健康福祉部理事 (医師) 重見 博子
2/10 (金)	京都市立桃山東小学校	6	医仁会武田総合病院 副院長 財間 正純
3/6 (月)	京丹波町立竹野小学校	5・6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
3/10 (金)	京田辺市立普賢寺小学校	6	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩

<児童の感想>

- ◇ がんについて知って、2人に1人がなることは初めて知ったし、異常な細胞が1日に約5000個くらいできていることも初めて知りました。今から、規則正しい生活を心がけたらいいと思います。周りの人が元気なときは、大丈夫?などと声をかけたらいいと思います。
- ◇ がんは誰にでもかかるということが分かった。がん検診がとても大切だと分かった。がんのことを身近な病気だということを周りの人に伝えたいと思いました。ありがとうございました。
- ◇ がんは身近な存在ということが分かったし、子どももなる病気で、健康診断だけではがんは見つからなくて、がん検診では見つかることが分かりました。みんなにがんは身近な病気なんだよと言って、がん検診はした方がいいというのみんなに知ってほしいです。がんは100%ではないけど、予防できるところがなるほどと思いました。
- ◇ 僕は100%がんにはならない予防があるというのではなく、ワクチン接種をすると、かかりにくくなることを知りました。みんなに気配りをしたいです。
- ◇ がんは100%予防はできないけれど、ならないように手洗いうがいの基本や、バランスよく食べたり、たばこを吸わないようにしたいです。20才になったら子宮がん検診、40才になったらがん検診を受けます。また、子宮がんにならないように予防接種もしたいです。がんはとにかくこわいと改めて感じました。
- ◇ がんになる前に予防ができた、がんになっても一人ではないなどの大切なことを知れたので、僕の人生に生かしていきたいと思いました。家族など身近な人ががんなどになったら、ずっとそばにいて安心させられる行動をとりたいと思いました。いろいろ大切なことを教えてもらったので、とてもためになることを学んだなと感じました。
- ◇ 大人になっていけばいくほど、がんになる確率が高くなっていくので、今の友達や自分のことも少し心に留

めておけるようにします。(大人になった時、今日習ったがんの事) おじいちゃんやおばあちゃんのこと心配して「がん検診行ってみたら」と言ってあげたいです。

- ◇ 身近な人でも、リスクがある恐ろしい病ががんだと改めて実感しました。野菜や果物を普段から食べるようにして、外での運動や適度な睡眠を徹底したいです。菓子パンやジャンクフードを控えたいです。

◎中学校 (10校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
1/20 (金)	南丹市立美山中学校	2	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
1/31 (火)	八幡市立男山東中学校	1	京都岡本記念病院 消化器内科副部長 岡崎 裕二
1/31 (火)	京丹後市立峰山中学校	1	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
2/3 (金)	八幡市立男山第三中学校	2	宇治徳洲会病院 外科医員 竹内 豪
2/21 (火)	宇治田原町立維孝館中学校	2	京都岡本記念病院 消化器内科主任部長 宮田 正年
2/28 (火)	京都市立衣笠中学校	2	京都鞍馬口医療センター 副院長 山下 哲郎
3/1 (水)	京丹後市立網野中学校	2	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
3/3 (金)	八幡市立男山第二中学校	1	京都岡本記念病院 がん看護科師長 田村 美子
3/15 (水)	井手町立泉ヶ丘中学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
3/15 (水)	南丹市立八木中学校	2	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹

<生徒の感想>

- ◇ がんは誰でもなってしまうことがあって、がん検診をしないと早く見つける事ができないというのがとても印象に残りました。規則正しい生活を常に心がけようと思いました。
- ◇ やはり免疫力はがんにとって一番の敵で、自分の中のヒーローだと改めて思った。そのヒーローを弱めるのではなく強くしていき、これからもがんに立ち向かっていきたい。
- ◇ がんへの印象が変わり、周りの大切な人に教えて広めていきたいと思った。
- ◇ 2人に1人ががんになると分かりました。そして最初は自覚症状はないので分かりにくいと思いました。そしてたばこにもなる原因があると分かった。そして日常生活も大切だと感じた。
- ◇ 今までがんが見つかったら嫌だから、検診に行くのに抵抗があったけど、早期に発見すれば治る可能性が高くなるということが分かったので、積極的に検診を受けようと思った。
- ◇ 自分の身体は自分にしか分からないことだからこれから先、自分の身体についてしっかり管理していきたいです。
- ◇ ほとんど自覚症状がなくがんが進行するのは改めて怖いと思ったし、今からでもできる生活習慣を今まで以上に良くしようと思った。
- ◇ 今回は初めてその話を聞いたけど、もっと命の大切さということが分かりました。だから、がんにならないために気を付けることなどを大人になっても意識できるような人になりたいし、いろんな人をサポートしてあげたい!
- ◇ 本当にがんになった人の話を聞いて、もし身近になった人がでたとき、全力でサポートしたいと思いました。また、私になったとしても落ち着いて、ゆっくり頑張っていこうと思いました。
- ◇ 今回のがん教育でがんは誰がなってもおかしくないを知って、大人になったらがん検査をしたいと思った。

◎高等学校 (6校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
1/17 (火)	京都西山高等学校	1	京都桂病院 副院長 西村 尚志

1/18 (水)	京都府立園部高等学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
1/20 (金)	京都市立東総合支援学校	1	医仁会武田総合病院 副院長 財間 正純
2/17 (金)	京都市立東山総合支援学校	1	京都第一赤十字病院 緩和ケア内科部長 上田 和茂
2/22 (水)	京都府立綾部高等学校東分校	1	綾部市立病院 小児科医師 宇田 大祐
2/24 (金)	華頂女子高等学校	1	京都第二赤十字病院 がん看護専門看護師 塚本 多恵子

<生徒の感想>

- ◇ がんは誰がなってもおかしくない病気だから、自分は大丈夫と思い込んでいたらダメだし、検査も受けないといけないと思った。
- ◇ がんにならないように規則正しい生活をして、健康に気を配ろうと思いました。大人になったらたばこを吸わず、定期的のがん検診に行こうと思いました。
- ◇ 今日がんの話を聞いて、がんのことがよく分かりました。睡眠や運動などをして、健康な体づくりがこんなに大事なことで、今日の話聞いて知ることができました。家族と一緒に運動をしたりして、健康な体づくりを心がけていきたいです。
- ◇ がんは若者には関係ないと思っていたので、がん教育で知れて良かったです。たばこは吸わない。
- ◇ がんとは、どのくらいの人数の割合でなるのか、たばこを吸うと肺はどのようになってしまうのかなどを聞いて、改めてたばこはよくないし、がんは身近におこる病気だと知れた。また、実際の経験を聞いて、自分と重ね考えることができた。
- ◇ がんってあんまり関係ないかなって思っていたけど、2人に1人がなるって聞いてすごく身近な病気なんだなって思ったし、自分は子宮頸がんのワクチン打ったけど、打ててよかったなと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : kentai@pref.kyoto.lg.jp